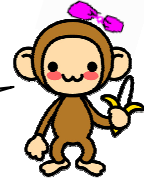


NST NEWS

H19.5.21
第 11 号

栄養を摂るにはどんな方法があるの？

下のページを参考にしてみてくださいね！



新年度を迎えて

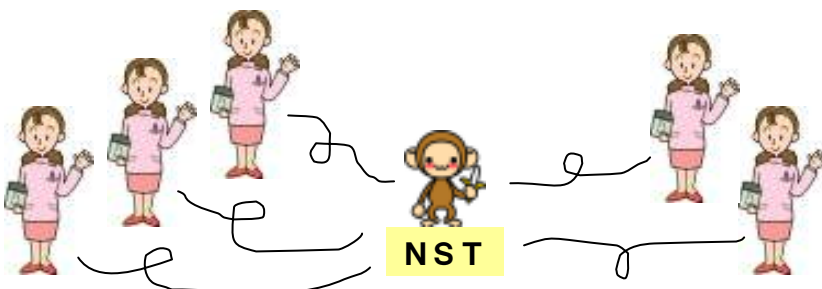
平成17年5月よりNST回診を開始してからまもなく2年になります。主治医からの依頼を中心に病棟・栄養科のカンファレンスや褥瘡回診者リストからも必要な人は少数ですがピックアップしてきました。実績のないNSTをどう利用すれば良いのか迷われたDrもおられると思いますが、栄養が摂れなくて困ったらとりあえず気軽に依頼してみてください。症例数を増やして栄養改善に役立つチームにしていきたいと思います。今のところ、付加食や食事形態の変更などで約半数の改善がみられています。残り半分は経口摂取できずに、経管栄養や高カロリー輸液に移行となりました。昨年はNSTの総論的な話や付加食を中心に、NST勉強会をしました。今年は、もう少し各論的な内容や昨年あまり出来なかった経管栄養や高カロリー輸液(IVH, TPN)を考えています。従来はIVHは一般病棟と考えられていましたが、昨年よりIVHが医療区分3になり療養病棟でも施行されています。新人教育も兼ねてのNST勉強会になります。同じテーマを毎月2回していますので、自由に参加してください。昨年はよみうり文化ホールにて協和会看護部主催の講演会で、当院のNSTの現状を発表しました。今年も6月にチーム医療としてのNSTについて発表します。また、地域健康講座での発表も予定しています。



リンクナース

患者様の栄養状態が悪いと褥創の発症・感染症などの合併症で状態が悪化します。特に高齢者は体の機能が低下傾向にあるため、栄養状態の悪化は深刻な状況を招きます。そのため、栄養不良を早期に発見し適切な栄養療法を行なうことが重要になってきます。

そこで、リンクナースにNSTの目的や活動を知ってもらい、NSTと連動し栄養不良の早期発見と看護計画に基づいた看護・介護実践など、スタッフへの指導の役割を担ってもらうことが理想です。



頼りに
しています...



栄養摂取フローチャート

